

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	ポコズママの会関西
活動テーマ	流産死産経験者でつくるポコズママの会



- ① ワークショップ茶話会…五感を癒すことを意識した環境設定で、安心して悲しみに向き合えるように少人数で実施。我が子のために出来ること（可愛い物作り）に集中する仲間とのひとときは、セラピー効果も得られる。終了後の感想「我が子にしてあげることが何もなく悲しかったけれど可愛い物づくりで赤ちゃんの骨壺コーナーにプレゼントができて本当にうれしいです。」と涙されていました。
- ② マタニティ胎教…グリーフを抱えながらの苦しい妊娠期にサポート体制はほぼありません。不安な気持ちを少しずつプラスのイメージに向けられるように胎教茶話会（グリーフワーク）等を企画。成果として、一人であると要らぬことを考えがちですが、ピアサポートの場で吐露すること、胎教に大切なこと、産後の具体的なイメージを感じてもらうことで、出産にむけて徐々に前向きになれることが成果です。
- ③ 産後ケア育児支援…赤ちゃんを亡くした悲しみは、次子が産まれても消えることはありません。グリーフを抱えながら育児をおこなうことに対して、周囲の理解が乏しいため、産婦は孤立しやすくなります。この部分にベビーマッサージなど産後のプログラムを導入したピアサポートの場を作ることで、精神面を少しずつ整えられることが活動成果に繋がります。
- ④ 研修セミナー…流産死産当事者の状況、実態を理解してもらえるようにピアサポートの現場の声を社会、医療、行政に届ける活動をしています。「患者の生の声を聞いて苦しくなったが、これ以上苦しい思いをさせないようになりたい。退院後のお母さんへの対応について知らないことが多かったのでびっくりした。感情の表出ができるように信頼関係を気づいて行きたいと思った」等、徐々に当事者への理解が広がっています。